

なぜゴダールは難しいのか？

ジャン＝リュック・ゴダールが『勝手にしやがれ』で鮮烈な長編映画デビューを飾ったのは1959年のことです。それから60年以上の年月が流れましたが、未だにゴダールは現役の映画作家として最前線に立ち続けています。映画史に不可逆的な変化をもたらし、数多くの映画人に多大な影響を与え続けている一方、その作風は極めて難解であり、時として観客を苛立たせもします。なぜゴダールの映画は難しいのでしょうか？なぜ多くの観客の理解を拒むような映画ばかりを作り続けるのでしょうか？そして、なぜ撮り続けることができるのでしょうか？

そのことについてご一緒に考えてみたいと思います。

参加無料
要申込み
[先着順]

日時 **2020年1月29日 水** 16:40~18:10

会場 **名古屋外国語大学 K508教室**

開催 **名古屋外国語大学 ワールドリベラルアーツセンター主催**

対象 **どなたでも参加できます**

講演者

柿沼 岳志

かきめま たけし

名古屋学芸大学メディア造形学部映像メディア学科専任講師。

日本大学芸術学部映画学科、京都造形芸術大学大学院卒業。映像制作会社勤務を経て、現職に。監督作に『プラネタリウムと冬の月』（ショートストーリーなごや映像化事業）、プロデュース作に『唇はどこ？』（長崎俊一監督作品/NUAS 映画プロジェクト）など。



申し込み方法

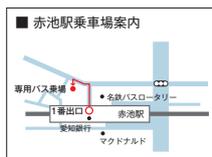
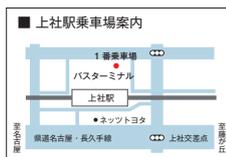
当日参加も可能ですが、準備の都合がありますので、事前のお申込みをお願いいたします。右記のQRコードを携帯電話やスマートフォンで読み込んで頂くか、下記URLをパソコン等で直接入力して、申込みのフォームに必要事項を入力、送信してください。

<https://req.qubo.jp/wlac/form/20200129>



■本学へのアクセスについて■

当日、駐車場はありませんので公共交通機関または上社駅、赤池駅からの専用バス(無料)をご利用ください。専用バスにご乗車の際は、イベントに参加する旨を運転手にお伝えください。



問合せ先

名古屋外国語大学
ワールドリベラルアーツセンター

Tel: 0561-75-2164 (直通)
mail: wlac_gg@nufs.ac.jp



本イベントにおける写真撮影や録音はご遠慮いただきますよう、お願い申し上げます。会場では腕章を付けたカメラマンが記録用の写真撮影を行っています。本学ウェブサイトやその他の刊行物に、写真が掲載されることがありますのでご了承ください。



※会場の温度調整が難しいため、調整しやすい服装でお越しください。

Facebook